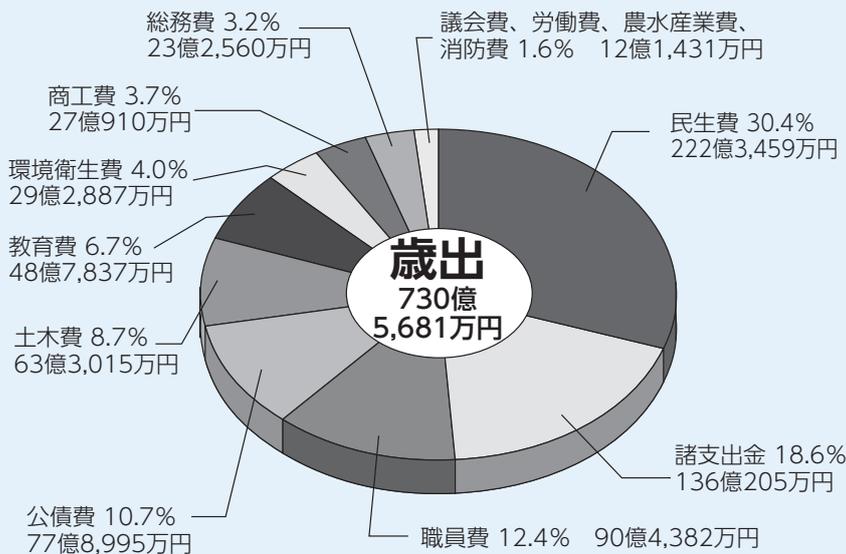


市民一人当たりの決算額

市税負担額
155,281円 (68円増加)
使われた経費
420,147円 (29,493円減少)

- 扶助費【福祉の充実に】
113,987円 (2,851円増加)
- 人件費【職員の給与などに】
47,099円 (2,637円減少)
- 公債費【借入金の返済に】
44,800円 (3,909円減少)
- 投資的経費【施設建設などに】
45,814円 (6,634円増加)

※金額は一般会計の決算額を平成26年3月31日現在人口173,884人で割ったもの。()は対前年比



などが減少したものの、国の経済対策などにより国庫支出金が8億7千868万円(6.4%)、また使用料及び手数料が3億1千103万円(15.0%)増となったことなどにより増収が実現しました。

歳出のうち、臨時事業費は総額192億6千782万円、今後のまちづくりに必要な事業である道路・公園の建設・改修をはじめ、若草町市営住宅建設や学校改修事業、緊急雇用創出事業などを実施しました。また、毎年度経常的にかかる経費については、景気低迷により扶助費が増加しました。

(単位：%)

財政健全化比率	苫小牧市指標	早期健全化基準
実質赤字比率 標準財政規模に対する、一般会計などの実質赤字額の比率	-	11.48
連結実質赤字比率 標準財政規模に対する、全ての会計の赤字や黒字を合算した「赤字」の比率	-	16.48
実質公債費比率 公債費(地方債の元金および利子の支払いに要する経費)および公債費に準じた経費の比重を示す比率	9.1	25.0
将来負担比率 地方債残高ほか一般会計などが将来負担すべき実質的な負債を捉えた比率	91.4	350.0
資金不足比率	苫小牧市指標	健全化基準
公営企業ごとの営業収益に対する資金不足の比率	-	-
水道事業会計	-	20.0
下水道事業会計	-	
市立病院事業会計	-	
土地造成事業会計	-	
公設地方卸売市場事業会計	-	

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、財政健全化に関する指標の公表を行っています。

財政健全化比率および資金不足比率

砂水処理センターでは受変電設備更新などを行いました。収益的収支は、3億5千366万円の黒字で、消費税と地方消費税を整理した純利益は3億545万円でした。

◆ 市立病院事業
急性期医療に対応した高度な先端医療を提供しています。年度末には医療情報システム(電子カルテ)を更新し、多職種の医療従事者によるスムーズな診療体制を推進し、質の高い医療の提供に努めてまいりました。収益的収支は558万円の赤字で、消費税と地方消費税を整理した純損失は617万円でした。

◆ 土地造成事業
住宅用地や工業用地の分譲をしています。明野地区およびウトナイ地区などを分譲しました。収益的収支は、22億2千539万円の黒字でした。

◆ 公設地方卸売市場
市民に安全・安心な生鮮食料品などの安定供給を図るため卸売市場を

企業会計決算一覧

会計名		収入	支出	差引
水道事業	収益的	29億7,214万円	24億7,017万円	5億0,197万円
	資本的	10億8,381万円	24億4,402万円	▲13億6,021万円
下水道事業	収益的	36億5,698万円	33億0,332万円	3億5,366万円
	資本的	24億2,707万円	42億0,115万円	▲17億7,408万円
市立病院事業	収益的	95億0,632万円	95億1,190万円	▲558万円
	資本的	12億7,501万円	14億5,839万円	▲1億8,338万円
土地造成事業	収益的	23億7,706万円	1億5,167万円	22億2,539万円
	資本的	17万円	2,033万円	▲2,016万円
公設地方卸売市場事業	収益的	1億4,783万円	1億3,115万円	1,668万円
	資本的	1,730万円	4,090万円	▲2,360万円
計	収益的	186億6,033万円	155億6,821万円	30億9,212万円
	資本的	48億0,336万円	81億6,479万円	▲33億6,143万円

開設しています。水産物部で、将来的な冷凍品の需要供給に対応するため、冷凍倉庫の供用を開始しました。収益的収支は1千668万円の黒字で、消費税と地方消費税を整理した純利益は1千638万円でした。